

あなたなら、どうする？

「親に終活準備を促すには」

親が元気なうちに終活・相続のことを話しておきたい、と思っても親の死を前提にしたことなのでなかなか切り出せません。実際、切り出したとしても親を怒らせたりして関係が悪くなるという場合があります。しかし、いよいよ親が病気になってからでは判断力も弱まり、お互いにいい解決策が導き出されません。

親は、理性より感情!

お金のタブー

日本の家庭、特に現在の親世代には人前でお金の話をするのは品がないと思われてきました。子どもに自分の預貯金をオープンにするのは、大きな心理的抵抗があります。

死のタブー

相続や終活＝死と受け取り、暗い気持ちになる場合もあります。まだ元気、認知症にもならないと思込み、できるだけ老後のマイナス部分避ける傾向になります。

欲のタブー

子どもから相続・終活の話されると「自分の財産をあてにしているのでは」と勘ぐる気持ちになることがあります。これは同時に老後への不安の現れのひとつです。

私がアドバイスします!



まずは、親子で終活リハーサルをしてみましょう。

まずは、あなたが「エンディングノート」を書いてみませんか。親にも見せてみましょう。

- 現状の問題に気付き、整理できる。
- 家族への望みもまとめられる。
- お金のことなど、タブー視されたことを家族に伝えられる。



家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。
TEL050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

初めまして、相続コンサルタントの今井絵美です。
親への悩み、心配、私も経験してきました。

あなたは、どうしたいですか。
一人で悩んでいませんか。

自分のことを少しお話します。

私は長年、法律事務所でも相続・終活アドバイザーの仕事をしてきました。

課題は同じでも「親」という人間相手。100のご家族には、100のサポートやアドバイスが必要です。

私自身、子どもの頃から家族関係に悩んできて、相談者の方が、あの頃の私と同じだなという思いを抱くと多々あります。

自分が体験しているからわかる気持ちと、専門知識、経験から導くヒントなど、あらゆる総合力で相談者の味方になれると思っています。

(時々厳しいことも言いますが)他人

に家庭内のこと、恥部とと思っていることを話すのは、日本ではタブー視されてきました。

さらに「弁護士の方に相談するに
は敷居が高くて」「親に切り出しにくくてつい後回しに」「何をどうしていいかわからない」など現状を解決できないまま、想像以上に悪い状態になる場合があります。

しかし、時代は変わり、家庭問題を解決する専門家も増えていきます。

私も自身が経験しているからこそ、親子の気持ちに寄り添えると。専門家に相談し慣れていない方のために、まずは無料相談を利用してみませんか。

何をどうしていいか、が整理され解決の道筋が見えてきます。



今井 絵美 株式会社 MOCIAS (モシアス)
代表取締役 相続コンサルタント

[業務内容]

親活・相続(準備、手続き)・
おひとりさま終活・ペット終活

家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。

TEL050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

あなたなら、どうする？

「親が認知症になったら」

2025年に65才以上の5.4人に1人が、認知症になると予測されています。^{*}

認知症を発症してからだと、家族でも親の預貯金を動かせません。

財産管理、介護問題など、その時になって対応するのは

遅すぎるとい問題が持ち上がります。ベストな答えは、親が元気なうちに。

しかしなかなか切り出しにくいものです。お悩みの方はお気軽にご相談ください。

子ども世代もいつかは辿る道。ご両親の気持ちになって、一度、認知症テストをしてみてください。

Check! 自分でできる認知症の気づき

- Check!1 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがある。
- Check!2 5分前に聞いた話を思い出せないことがある。
- Check!3 周りの人から「いつも同じことを聞く」と言われる。
- Check!4 今日が何月何日かわからない時がある。
- Check!5 言おうとしている言葉がすぐ出てこないことがある。
- Check!6 バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できる。

私がアドバイスします!



ご両親の様子を見て、当てはまることはありますか？ Webでも認知症テストができますので親子でチェックしてみてください。

広島県認知症対策 / 自己判断テスト

※厚生労働省認知症施策推進総合戦略より



家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。
TEL 050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

認知症になる前に決めておきたいこと。

他人事ではありません。

私の様々な経験が、
今の仕事に繋がっています。

私の祖母が認知症で私の家族と同居するようになった時のお話です。

今から20年以上前のこと。介護は家族に任せるとというのが、当たり前だった時代です。

他人から見れば、長男夫婦と同居し、介護してもらえるなんて幸せ、と思われていたでしょう。

しかし、これまで住んでいた地を離れ、知らない環境で生活することは祖母にとって幸せなことではありませんでした。

慣れ親しんだ場所の施設に入ること
を希望していましたが、当時はまだ、
長男がいるのに施設に入るのは、あま
りよく思われていませんでした。

母自身もそう思っていたからこそ、当
たり前のように同居ということにな
ったのです。それが間違いでした。

父は働いていましたので、介護の担い
手は専業主婦の母に。

祖母、母ともに介護生活に不満を持
ちながら、仕方なく日々を送るという
状態。子どもの私にはどうすることも
できませんでした。

段々物忘れがひどくなり、耳も遠く
なると会話が億劫になり、認知も進
みました。

最終的に施設入居となりました。
もつとみんなが幸せに近い選択があ
ったのではと、今になったら思いま
す。少しでも元気なうちに親子で将
来を考える、そのためにお手伝いがし
たいと思うようになったのは、私自
身の体験からでした。



今井 絵美 株式会社 MOCIAS (モシアス)
代表取締役 相続コンサルタント

【業務内容】
親活・相続(準備、手続き)・
おひとりさま終活・ペット終活

家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」

で、お話しませんか。

TEL050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

あなたなら、どうする？

「親が70代になったら、親活の始め時。」

「あれ、この間と違う」「年を取ったな」と親に会った時に感じることはありませんか。
同居の親子より意外とたまに会う方が気がつく場合があります。

Check! 親子の認知症入りロチェック

- | | |
|--|--|
| Check!1 <input type="checkbox"/> 耳が遠くなる。 | Check!4 <input type="checkbox"/> 必要以上に同じ食品がある。 |
| Check!2 <input type="checkbox"/> 人との会話が億劫。 | Check!5 <input type="checkbox"/> 小銭の計算が苦手になりお札を出す。 |
| Check!3 <input type="checkbox"/> 小幅歩きになっている。 | Check!6 <input type="checkbox"/> ご飯を1日に何度も食べる。 |

日常生活にそれほど支障は出ていないと、「年だから」と重く受け止めないかもしれません。

しかし、それは軽度の認知症であり、放っておけば進行していきます。

日本の平均寿命は女性87才、男性81才ですが、自立して生活できる

年齢を指す「健康寿命」は、女性74才、男性72才です。

まだまだと思っていたら突然親の介護が始まります。

今のうちに親子で話しておくべきことですが、金・欲・死の話は、

タブーとされ、親子とはいえなかなか難しいのが現実です。

「お金の話を人前するな」「親の財産をアテにするな」「縁起でもないことを言うな」と言うのが親の本音です。ではどうするか。

極意1 死後ではなく、生きる時間にフォーカスすべし

極意2 負の遺産から話題にすべし

極意3 親より先に自分がやるべし

特に、誰しもいつかくる道。まずご自身からエンディングノートを作り、親に見てもらうのもいいかもしれません。自分たちより若い子どもたちが、孫のために将来の介護や相続のことをきちんと考えていると知れば、「私たちも・・・」と行動を促すことができるのではないのでしょうか。



私がアドバイスします!



まずは、親子で
終活リハーサルをしてみましょう。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。
TEL 050-3595-0323

家族に合ったそれぞれの方法があります。

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

介護とお金の問題は切り離せない。

口にしたくなくても、いい人生送るためです。

理性的より感情が

勝ってしまう難しさがありません。

今、元気でであろうとなかろうと、財産があるうとなかろうと考えておかないといけないことが、介護と相続の問題です。

私の場合、思春期に祖母と親の関係を見ていたことから、今仕事としている相続コンサルタントの必要性を痛感しています。

決して経済的に豊かではなかった我が家に認知症の祖母が同居するようになり、一番大変だったのは母だと思えます。父のギャンブル依存症と祖母の認知症。Wの辛さです。

今なら相談できる専門家はたくさんいますが、20年前では、一人で抱え込

むしかありません。

意外と当時は、そんな主婦の方がたくさんいたのではないのでしょうか。

新婚時代の嫁姑問題から子育て中の介護問題まで、嫁という立場の女性に大きな負担がかかっていました。特に長男の嫁に。

時代は変わりました。ネットで情報をすぐ知ることはできます。

しかし情報の多さでうちの場合ほどれが合うのは分からないまま迷っている方が多く、同じようでも違うのが、介護と相続の問題です。

一人で悩まない。親子で考えられるうちに準備しておく。自分たちに合った方法を見つける。

どうか今のうちに、早めに始めてみましょう。



今井 絵美 株式会社 MOCIAS (モシアス)
代表取締役 相続コンサルタント

【業務内容】

親活・相続(準備、手続き)・
おひとりさま終活・ペット終活

家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。

TEL050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

あなたなら、どうする？

「親が元気なうちに、親子で親活！」

自宅の片付け

誰しも元気で老後を自分の家で過ごしたい。それが理想ですが、老いと死を語る経験者はいません。誰しもが行く道、通る道です。いきなり親子で話し合うのは親にとって不安要素が多すぎます。まず、自宅の片付けを始めてみませんか。新婚時代、子どもの成長、孫が誕生など、半世紀近くの歴史が刻まれた家。難しいのは物理的に必要なものではなく、心情的に必要なものがあることです。単なるものではなく、そこには想いが乗っている。

子どもがその気持ちを知っておくことも大切。その上で理解を示しながら処分するもの、しないものを選び分けていきましょう。元気なうちにゆっくりと。



介護情報の共有

元気なうちは、自分が介護されることを考えたくないもの。しかし、必ず、その日は来ます。子どもからそのような話を持ち出されと不機嫌になる親は多いです。

介護家庭の知り合いなどの例を出しながら、本当にどうして欲しいのか、気持ちを知っておくことが大切です。また、介護情報は年々変化と進化をしています。子ども世代もきちんと情報を掴んでおきましょう。

エンディングノート作成

自宅の片付け、介護情報の収集など、知っておいて無駄なことはありません。

誰しもが通る道ですから。なかなか親子とはいえ、いや親子だからこそ後回しにしたい問題と言えます。そこでオススメしたいのが「エンディングノート」づくりです。誰しもがエンディングがある。それは親世代だけではありません。親子でエンディングノートを作ってみてはいかがでしょうか。遺言を作るなどの重さやネガティブさはありませんし、親子で気持ちを整理し合ういい機会になればいいと思っています。



私がアドバイスします！



まずは、親子で終活リハーサルをしてみましょう。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」
で、お話しませんか。

TEL 050-3595-0323

家族に合ったそれぞれの方法があります。

詳しくはモシアスで検索！
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!

家族だから傷つけ合う。しかし、

家族だから助け合う方法があるはずですよ。

親子関係の難しさを色々と実感しています。

仕事に疲れてギャンブルに走った父と、父の作った借金返済で精神的に追い詰められた母をずっとそばで見ながら、多感な時期を過ごした私が今のような仕事を選んだのは、必然と言えるかもしれません。

情報も手助けも資産もない、我が家の困窮をどのように解決したのか。家族それぞれが傷つき、我慢し、何とかやり過ごしたのが正直なところでしょうか。

解決などしていません。高校時代、私より優秀だった姉は県外への進学を諦め、私は何とか奨学金を得て国立大学へ入学できました。

大学時代は、生活費を得るためにバイトの毎日でした。金銭的な面で親に頼ってはいけない、甘えてはいけ

ない。そう考えていました。そんな家庭環境でしたが、ギャンブルで借金を抱えた父とは一番気が合っており、中学生の頃一緒に牛乳配達をしていました。親を憎むとかの気持ちはありません。

とにかく自分で何とかするという自立心の強い子どもだったような気がします。ただ、外には出ませんが、辛い時期も正直ありました。

その頃の体験が、今の仕事に付き、皆さんの手助けをする原動力になっているかもしれません。介護や相続の問題は一見、知識や情報を知っていれば解決できることかもしれませんが、しかし、心の問題は、どうでしょうか。親子で理解し合えない、兄弟で裁判沙汰になる。お金の問題で家族の縁を切るなんて、考えたくありませんよね。一緒にいい方法を探していきませんか。



今井 絵美 株式会社 MOCIAS (モシアス)
代表取締役 相続コンサルタント

【業務内容】
親活・相続（準備、手続き）・
おひとりさま終活・ペット終活

家族に合ったそれぞれの方法があります。

今井絵美の「はじめて相談(無料)」

で、お話しませんか。

TEL 050-3595-0323

詳しくはモシアスで検索!
<https://mocias.jp>



QRで
チェック!